

2025 年度 大学院入試（10 月期）（フランス語フランス文学専攻）

修士課程 「専門科目」

（2024 年 10 月 5 日実施）

選考・判定方法 《専門科目（フランス語・フランス文学）》《英語》《口述試験》
専門科目（100 点）、英語（100 点）および口述試験（4 段階評価）により評価する。

《専門科目》（100 点満点）

I（20 点）

出題意図

フランス語の文献・資料を正しく理解できるかを判定するため、フランス語の文章について要点の把握の力を見る。

長文出典

« Être mieux avec moins ? Entretien avec Olivier Rey », propos recueillis par Martin Legros, *Philosophie Magazine*, n° 163, octobre 2022.

II（20 点）

出題意図

フランス語で自分の考えを表現できるかを判定するため、フランス語による作文で表現力を見る。問題は選択式で、受験者は 2 つの問題から 1 つを選んで解答する。

III（20 点）

出題意図

フランス語の文献・資料を正しく理解できるかを判定するため、フランス語の文章について細部読解の力を見る。

正答および正答例

問 1 ②

問 2 北斎は、日本語を知らない日本語の教授たちよりも、日本の知識を私たちに簡単に理解させるために多くのことを成し遂げた。

問 3 ④

問 4 シンプルなスケッチブックでも、その中に描かれたものが広大な可能性や視野を広げることができ、それについて話さずにはいられないほど印象的である。

問5 自身の性質 国の制度 住民の習慣

問6 著者は、北斎のスケッチブックにある24枚の猫の様々なポーズのスケッチを紹介しているが、著書ではその中からさらに多くの猫のスケッチを掲載することはできなかった。

問7 ア × イ × ウ ○ エ ○

長文出典

Adolphe Bizet, *Les chats*, Calmann-Lévy, 1850.

IV (20点)

出題意図

フランス語の文献・資料を正しく理解できるかを判定するため、フランス語の文章について日本語訳の力を見る。

正答例

中学校では、最初の授業が始まるとすぐに、最後のベルを不安な気持ちで待っている。成績は下がり始めたが、それは私にとって重要ではない。授業を聞かず、勉強もせず、何も学ばないし、何もしない。家での夕食のために力を残している。食べること、笑うこと、冗談を言うこと、1日の出来事について適当に話すこと、人の話を聞くこと、冗談を言い合うこと、普通に見えるように振る舞うこと。それは私をとっても疲れさせる。母は何も気づいていない。彼女は幸せそうで、それが私の望むことだ。彼女は「ダイエットで体調を崩してるのよ!」と言う。私は2ヶ月で12キロ体重が減った。祖母は私の顔色が悪いと言っている。

V (20点)

出題意図

フランス文学史の基礎的知識を有しているかを判定する。

正答

問1 A (g) B (f) C (j) D (c) E (d) F (b)

問2 (自由記述)